保護者の方へ：予防接種をする前に必ずお読みください。

R7.4

ジフテリア・破傷風二種混合（DT）（第２期）

定期予防接種のお知らせ

予防接種法に基づく定期予防接種を次のとおり実施します。
予防接種は，確実な免疫をつけるために規定された期間で受けることが大切です。
規定された期間以外での接種は，任意によるものとして取り扱われ，有料となりますのでご注意ください。

１　対象年齢，標準接種期間，回数

	対象年齢	標準接種期間	回数
第２期	１１歳～１３歳未満	１１歳	１回

※　この予防接種は，三種混合（ＤＰＴ）又は四種混合（ＤＰＴ-ＩＰＶ）の追加接種（第２期）となるものです。（三種混合又は四種混合定期予防接種の対象年齢の上限は生後７歳６か月未満です。）

※　三種混合又は四種混合予防接種（初回 ３ 回＋追加 １ 回）が終わっていない方は，かかりつけ医にご相談ください。

２　接種費用　　無料（公費負担）

３　実施場所　　調布市定期予防接種協力医療機関（別紙参照）
※狛江市，世田谷区，三鷹市，府中市の医療機関でも予防接種を受けることができます。その際は，調布市の予診票を必ずお持ちください。

４　その他
⑴　接種前に別紙「予防接種を受ける際の注意点」を必ずお読みください。
⑵　接種を希望する方は，必ず医療機関にご予約ください。
⑶　接種当日は，予診票・母子健康手帳・マイナ保険証（健康保険証）又は資格確認書をお持ちください。

問合せ／調布市子ども生活部子ども家庭センター　電話０４２－４４１－６０８１

裏面あり

ジフテリア・破傷風（DT）

ジフテリアとは（Diphtheria）

ジフテリア菌の飛沫感染で起こります。１９８１年に改良型ジフテリア百日せき破傷風混合ワクチン（ＤＰＴ）が導入され，現在では国内の患者発生数は年間０が続いています。感染は主にのどですが，鼻腔内にも感染します。ジフテリアは感染しても１０％程度の人に症状が出るだけで，残りの人は症状がでない保菌者となり，その人を通じて感染することもあります。症状は高熱，のどの痛み，犬の吠えるようなせき，嘔吐（おうと）などで，偽膜と呼ばれる膜がのどにできて窒息死することもあります。発病２～３週後には菌の出す毒素によって心筋障害や神経麻痺を起こすことがあるので，注意が必要です。

破傷風とは（Tetanus）

破傷風菌はヒトからヒトへ感染するのではなく，土の中などにいる菌が，傷口からヒトの体内に入ることによって感染します。菌が体の中で増えると，菌の出す毒素のために，筋肉の強直性けいれんを起こします。最初は口が開かなくなるなどの症状で気付かれ，やがて全身の強直性けいれんを起こすようになり，治療が遅れると死に至ることもある病気です。患者の半数は本人や周りの人では気がつかない程度の軽い刺し傷が原因です。土中に菌がいるため，感染する機会は常にあります。また，妊娠中の母親が抵抗力（免疫）をもっていれば出産時に新生児が破傷風にかかるのを防ぐことができます。

副反応について

局所反応として，注射部位の発赤・腫脹（はれ），硬結（しこり）など，また全身症状として，発熱，悪寒，頭痛，倦怠感，下痢，めまい，関節痛などが認められることもあります。いずれも一時的なもので，通常２～３日で改善します。ただし，硬結（しこり）は１～２週間残ることがあります。

「予防接種健康被害救済制度」について

定期予防接種によって引き起こされた副反応により，医療機関での治療が必要になったり，生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には，予防接種法に基づく給付（医療費，医療手当，障害年金，死亡一時金等）を受けることができます。給付申請の必要が生じた場合には，子ども家庭センターへご相談ください。